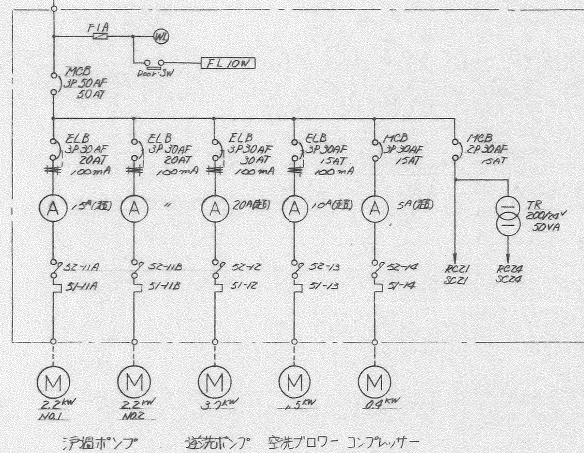
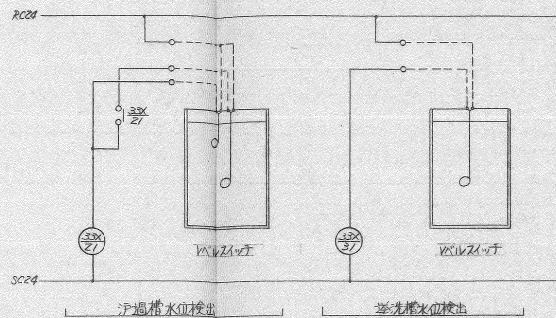


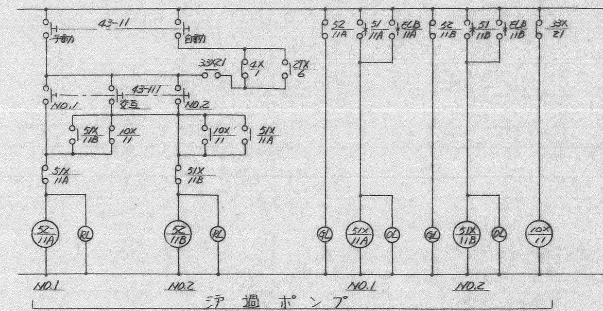
3φ3W 200V50Hz (動力用配線ヨリ)



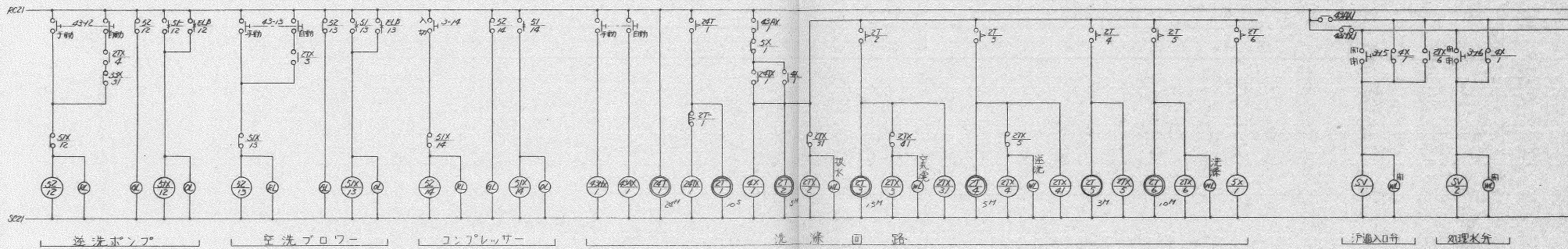
汚濁ポンプ 送水ポンプ 空洗ブロー コンプレッサー



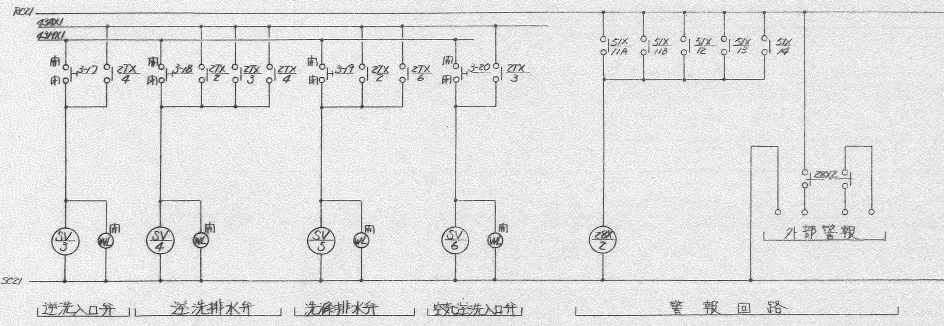
汚濁槽水位検出 空洗槽水位検出



汚濁ポンプ

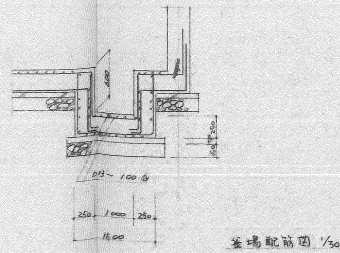
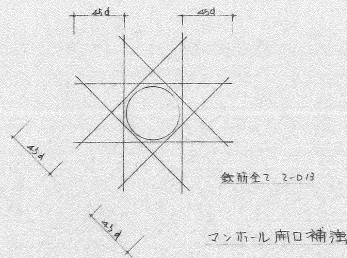
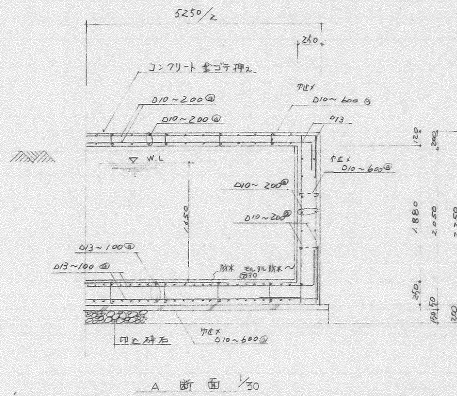
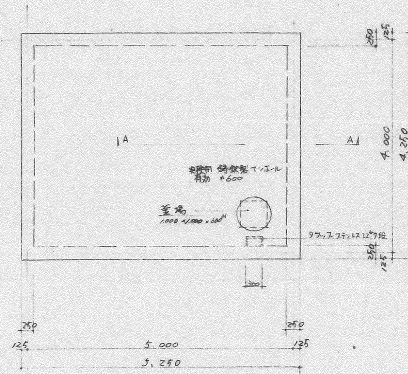


洗水ポンプ 空洗ブロー コンプレッサー 洗滌回路 洗水入口弁 洗水排水弁



洗水排水弁 警報回路

防火用水 (3ヶ所) 設備工事と寸法



空気調和設備 特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事場所 群馬県佐田郡東村大字東小保字字庫4番 557/6番地外97号

2 建物概要

建物	構造	階数	延床面積	
			㎡	㎡
新築棟	鉄骨造	2	15,877.55	
その他既存棟		1	1,556.78	
合計			17,434.33	

3 工事項目

○] 機器設置工事	○] 冷凍機室附属設備工事	1式
○] 風機設置工事	○] ホイラ室附属設備工事	1式
○] 配管設置工事	○] 空気調和器附属設備工事	1式
○] 給油設置工事		1式
○] 換気設置工事		1式
○] 排煙設置工事		1式
○] 自動制御設置工事		1式

Ⅱ 空気調和設備標準仕様

1 標準仕様書

本工事は設計図書並びに本特記仕様書に基づき、かつ下記の記載なき場合は全て下記による。
 (1) 建設大臣官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」52年度版同種区分
 (2) 防衛施設庁「機械設備工事共通仕様書」50年度版
 (3)
 (4)

図面と仕様書が相違する場合や明記ない場合、又は疑義を生じた場合は、事前に現場係員と協議し現場係員の指示に従う事。

Ⅲ 特記事項

1 機器資材

本工事に使用する機器、資材は別表メーカーリストに依る。又は現場係員が同等品以上と認め承認を得た製品とする。製品は特記なき限り「共通仕様書」に準拠し原則としてメーカー標準品とする。

2 諸官庁、その他手続

本工事に係る諸官庁、その他施工上の申請手続は全て本工事請負者が滞滞なく行うものとし、その費用は全て請負者が負担する。

3 仮設材料、電力費

工事中必要な仮設材料電力、工事用水その他必要な費用は全て本工事請負者の負担とする事。

4 施工図、承認図

本工事着手前に施工図（縮尺1/50）機器承認図を作成し現場係員の承認を得て着工する事。

5 工事写真

工事工程途中埋設配管隠ぺい配管及び現場係員の指示の部分の写真を写し、アルバムにて日時場所を明記の上製本し提出する事。尚配管ウラ等直接写らない部分は鏡を写しアルバム使用し全体を撮影する事。部数は係員と協議のこと。

6 竣工図

工事引渡の際、実際の施工完成に基づき竣工図の維持管理に支障なき様作成し係員のチェックを受けその指示に従うこと。製本等も係員の支持に従うこと。

7 完成写真

下記のものを含み文字入フリーアルバムに整理して原簿とも監製員に提出する

分類	規格	部数	原簿の大きさ
カラー	キャビネット版	1部	24 × 36 以上

8 他工事との取合

建築工事又は他工事との取合は予め現場係員の指示に従い工事進捗に支障のない様に施工する。別表参照のこと。

9 測定表

工事完成後現場係員の指示に従い温度湿度水量風量騒音等の測定表を作成し現場係員に提出する事。

10 係

本工事実施に当り施工担当の専門業者としての職責の注意管理または努力を怠りそのために事故損害を生じた場合当該業者はそれぞれ賠償しなければならない本工事の保証期間は契約書によるものとする。

11 竣工区分

構内指示の場所のない様、構外竣工指定場所

12 扉

オープンカット 山留（美輪シートバイル）水栓（~~標準~~ ウェルポイント）

13 埋戻土

擁 積 土

14 制御盤 操作盤

電源表示は白、運転表示は緑、異状故障及不審火表示は橙の表示色とする。

15 電源周波数

50Hz

16 風量測定口

風量測定口を取り付ける部材は送風機に接続した部分、外気取入風量及び特記したダンパーの直前の部分または換とする。尚取付付寸300未満は1個、300以上700未満は2個700以上は3個とする。

7 エアーチャンバー

内張りを通すチャンバーの表示寸法は（外・端）法を示す。
 空調機、送風機房機に取付けるサブライチャンバー・ターンチャンバー及び特記のチャンパーには点検口（600×450）の点検口を設ける。

8 送風機形式

外壁に面するガラスに直接取付けるチャンパー及びホッパーには排水コック（25mm）を取付ける。
 自動復式式 手動復式式 閉鎖機構は（ソレノイド 圧搾空気）
 復旧機構は（電動式 圧搾空気）
 煙感知器、運動制御盤及び煙感知機から運動制御盤までの配管、配線並びに運動制御盤からダンパーまでの配管、配線は（本工事、電気、別途）

19 防振対策

共通仕様書に準ずる。但し配管口径に対する長さは下記による

管径	80 以下	100 ~ 125	150 ~ 250
全長	300	400	500

20 可撓継手の長さ

管径	50 以下	65 ~ 150	200 以下
全長	500	800	1,000

21 排煙機自動起動装置

手動及び遠隔操作可能なものとし排煙機自動起動装置、運動制御盤、煙感知器二次電源工事全て本工事。

22 保護、塗装及防錆

共通仕様書による。但し下記のことは本仕様による。
 (1) 本用配管の土中埋設部は防蝕樹脂テープ（JISZ190 防蝕用ビニールテープ）2重巻とする。
 (2) 油配管の地中埋設及びコンクリート内埋設配管はアスファルトプライマー・覆装膜アスファルト防蝕テープ巻とする事。

23 消音及防振

共通仕様書による。但し下記のことは本仕様による。
 (1) 屋上騒音は隣地境界点で計容値は騒音防止条例が環境基準等の以下とする。
 (2) 消音内貼はグラスウール吸音板（94kg 32kg 40kg）とし厚さは（50e 50e 40e）のグラスクロス貼りとする。
 尚JIS-A-6306（グラスウール保温度2号）とする。
 (3) 消音はプラスチックボード9%+カラーボード6%+アルミコーナージュイナ（本製枠下地、プラスチックボードとカラーボードの継目が合わない様施工する）
 (4) 防振は配管（無、無） ダブル シングル
 ダクト（無、無） ダブル シングル
 (5) 騒音の測定は公的機関によること。

24 本工書の提出

工事引渡後、1ヶ月以内に（郵送）変更の行われた部分については設計図書と既訂正版本の上から提出する。既訂正版（訂正した部分）をマイドアルバム（紙）と等価の印刷品（A4用紙）を2部、A5用紙を1部（A4用紙を2部）と併せて提出する。既訂正版（訂正した部分）をマイドアルバム（紙）と等価の印刷品（A4用紙）を2部、A5用紙を1部（A4用紙を2部）と併せて提出する。既訂正版（訂正した部分）をマイドアルバム（紙）と等価の印刷品（A4用紙）を2部、A5用紙を1部（A4用紙を2部）と併せて提出する。

凡例 (管線記号と設備工事)

名称	シンボル	区分	図示記号	仕	様
高圧蒸気管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
高圧温水管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
中圧蒸気管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
中圧温水管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
低圧蒸気管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
低圧温水管			SGPI	配管用炭素鋼管(黒)	JIS-G-3452
冷却水往管	—CN—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
冷却水戻り管	—CUR—		VLP	硬質塩化ビニールライニング鋼管	JWWA-K-116VA
冷水往管	—C—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
冷水戻り管	—CR—		VLP	硬質塩化ビニールライニング鋼管	JWWA-K-116VA
温水往管	—H—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
温水戻り管	—HR—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
冷温水往管	—CH—	○	GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
冷温水戻り管	—CHR—	○	GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
高温水往管	—HH—		STP	圧力用炭素鋼管(スケジューリング)	JIS-G-3454
高温水戻り管	—HHR—		STP	圧力用炭素鋼管(スケジューリング)	JIS-G-3454
配水管	—E—		GIP	水通車給めっき鋼管(高温水の場合は高温水仕様)	JIS-G-3442
給油往管	—O—		SGP	配管用炭素鋼管(黒) 溶接	JIS-G-3452
給油戻り管	—OR—		SGP	配管用炭素鋼管(黒) 溶接	JIS-G-3452
空気管	—A—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
真空管	—V—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
機器配管	—Q—		GIP	水通車給めっき鋼管	JIS-G-3442
仕切弁		○	GV	口径50'以下片開弁径65'以上片開弁フランジ形	JIS-10' JIS-5'
止弁		○	CV	口径50'以下片開弁径65'以上片開弁フランジ形	JIS-10'
止弁		○	SV	口径50'以下片開弁径65'以上片開弁フランジ形	JIS-10' JIS-5'
安全弁及び過圧弁			SFV		
減圧弁装置			RV	同口径のパイプ管付きとする	
温度調節装置		○	MY	パイプ管付きとする	
電動弁装置		○	SV	パイプ管付きとする	
配電弁装置		○	AV	仕切弁又は弁径20'又は15'付きとする	
圧力計		○	PG		
温度計		○	TG		
水高計					
凍成計					
ストレーナ		○		Y型ストレーナ	
高圧ドラブ装置			HTR	ドレン用大型弁15'及び仕切弁15' 1個付とする	
低圧ドラブ装置			TR	ドレン用仕切弁15' 2個付とする	
リフト継手				補修用アダプタ	
サイレンサ					
押給継手		○	EXJ	(鋼製) 単式型 (ステンレス) スリーブ型	
フレキシブル継手		○	FJ	(ステンレス製) ヨム製	
透気風道(外気風道)	断面:	○	SD(OA)	(鋼製) クラスワール板、木板、塩化ビニール板	
透気風道(排気風道)	断面:	○	SD(OA)	塩化ビニール板、ステンレス板	
排気風道(排気風道)	断面:	○	RD(EX)	(鋼製) クラスワール板、木板、塩化ビニール板	
排気風道(排気風道)	断面:	○	RD(EX)	塩化ビニール板、ステンレス板	
排気風道	断面:			(亜鉛鉄板、普通鋼板(厚さ1.6mm))	
吸出口	壁付:	○		(VHS, HVS, その他)	
	天井付:	○		(VHS, HVS, AND, その他)	

名称	シンボル	区分	図示記号	仕	様
吸込口	壁付:	○		(VS, HS, PS, (天井付) その他)	
	天井付:	○		(VS, HS, PS, (天井付) その他)	
キャンバス継手		○		不織材料とする。石綿布 (JIS-R3451) 重量 200%以上	
ダレンバ		○	VDI	電動ダンパ	
		○	FD	防水ダンパ	
		○	SFD	防塵ダンパ(電磁制御電動ダンパ)	
		○	MD	電動ダンパ	
ガラリ		○	OAG	昇盤に取付ける場合には雨除け用とする	
		○	EXG	昇盤に取付ける場合には雨除け用とする	
排煙口	壁付:	○	SER	手動又は遠隔操作排煙型とする	
加熱コイル			HC	蒸気又は温水	
冷却コイル			CC	冷水	
冷温水コイル		○	CH	冷温水	
エアーフィルタ			AF		
放熱器				(鋼製) 種類-1 (鋼製放熱器) (種類-2) (ベースボード-1タ)	
ベースボードヒータ				(鋼製) 種類-1 (ベースボード-1タ)	
コンベクタ				(鋼製) (長さ×巾×高さ) (種類-1) (コンベクタ) (種類-2) (ファンコンベクタ)	